審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	令和 8 年 10 月柴崎学習館運営協議会会議録概要
開催日時	令和 8 年 10 月 6 日（火曜日）18 時 30 分～20 時
開催場所	柴崎学習館　第二教室
次第	１　９月定例会議事録の承認 ２　報告事項 （１）各委員からの近況報告など （２）事務局からの報告 ３　協議事項 （１）第 50 回すわっ祭について （２）地域活性化講座の企画について ・企画テーマについて ４　その他
配布資料	①10 月定例会議議事録 ②すわっ祭関係資料
出席者	［委員］末松、楢崎、伊藤、松本、田村、奥田、鳥海、服部、久保 ［招待者］米田 ［事務局］片川、和田、大石
公開及び非公開	公開
傍聴者数	なし
会議結果	○司会：田村委員 第一学院高等学校立川キャンパス米田氏が出席。 １　９月定例会議事録の承認 原案通り承認された。 ２　報告事項 （１）各委員からの近況報告など A 委員：富士見町文化祭が行われた。すわっ祭で知り合った人同士の新たなつながりが生まれ、音楽祭や作品展への協力につながった。 B 委員：曙町文化祭が 10 月に行われる。展示、発表会を予定し、準備を進めている。市民リーダーの会で、英語で日本の歴史を学ぶ講座を予定していたが、やむを得ない事情により中止した。申込希望者は 17 人であった。地域活性化講座としてやってはどうかとの話があり、進めることとなった。 C 委員：９月にアイムホールで立川について地図で知る講演会を開催し、定員 200 人に対して訳 180 人が参加し市民が多く参加し盛況であった。12 月 4 日にアイムホールで宮沢賢治生誕 130 周年に関する講演会を予定している。広報や「きらり」への掲載後、申し込みが早期に埋まる状況が報告された。

D 委員：12 月 20 日の定期演奏会の準備状況と、新たな代理指揮者の指導が団員に好評だった事が報告された。

E 委員：代表者連絡会の議事要旨についての訂正事項が伝えられた。

F 委員：3 月の実施を目指し、30 分程度で行う避難経路の確認などを行う防災に関する講座・訓練の企画について提案があった。

G委員：10月3日・4日の柴崎町文化祭について、延べ約1,000人、演芸関係約300人、子ども約40人、作品展60人、観客2日間で約600人になった。立川市吹奏楽団と立川1中のコラボレーションについては、約100人の合同演奏であった。10月18日柴崎地区運動会、10月31日、11月1日RISURUホール地下１階にて立川市文化フェスタ・展示、11月1日の健康フェア等が行われる。

H委員：社会福祉協議会の取組について報告があった。交流会、サポーター講座、誰でも立ち寄れる居場所づくり、出張相談等が紹介された。第一学院との連携による活動も報告された。

B委員より、身寄りのない高齢者の終活支援について、入院・住居の保証人や死後の事務等に関する課題に対する質問があった。社会福祉協議会、行政、ケアマネジャー、弁護士等が連携し、エンディングノートや相談対応等を進めているとの説明があった。

米田氏：第一学院の地域活動についての報告があった。柴崎町文化祭にイラスト・写真を出展した。予定していた吹奏楽のアンサンブルは出演者の体調不良により中止した。10月5日に柴崎学習館ロビーをハロウィンの飾り付けとした。作業中、利用者から感謝の声を直接受けることが、生徒にとって良い経験となっている。

（２） 事務局からの報告

① スマートフォン教室　9 月 4 日・11 日・18 日・25 日に実施し、好評のうちに終了した。

② 親子でハロウィンスイーツ　10 月 11 日に開催予定。募集後、短時間で定員に達した。

③ 一中立川市民科公開講座　10 月 13 日、第一中学校で地域の戦争体験を聞く講座を予定している。保護者中心の案内であり、広く一般市民に募集しているものではない。地域関係者の参加について学校の了解を得ている。

④ 第 20 回寿教室芸能フェスティバル　10 月 21 日、RISURU ホールで開催予定。2 年に 1 回の事業で、関係職員は当日運営に当たる。柴崎学習館からは、柴崎寿と羽衣寿が出演する。

⑤ 廃食用油の回収　10 月 14 日から、学習館 1 階入口付近の窓際に回収ボックスを設置する予定。駅南側に回収拠点がなかった

	ことを踏まえて設置する。 ⑥ 第一視聴覚室の既存ピアノは調律のみでは対応が難しい状態のため、10 月 26 日（月・休館日）に電子ピアノを納品する予定。利用者懇談会の意見への対応として説明した。案内表示、トイレ入口の表示、ドアストッパー等の改善を行った。 3　協議事項 （１） 第 50 回すわっ祭について ① 参加対象と申込み 社会教育関係団体以外の利用団体にも参加対象を広げる。 B 委員：登録番号を持たない団体も申込みができるよう、申込書の登録番号欄の表記を修正する。申込書は実行委員会参加者への配布に加え、団体に確実に届くよう手渡し等を工夫するほうがよい。 D 委員：舞台発表は 5 月 22 日・23 日の開催案を基本とするが、応募状況によって 1 日開催となる可能性がある。1 日開催案・2 日開催案を示して実行委員会で図り調整するのはどうか。団体数・希望日の偏りに応じた集約が必要なのではないか。 B 委員：作品展は準備日 5 月 13 日（木）の開始時刻「午前 10 時」を、申込書だけでなく募集要項にも明記するほうが良い。 ② 受付方法と締切 12 月 12 日を締切として進める。窓口提出は 11 月 30 日までとし、休館後の直接提出は学習館のポストを利用するほか、郵送・FAX・メール・電子申請で受け付ける。 ③ 資料の会場案内 I 委員：「柴崎会館」と「柴崎学習館」との取り違えを防ぐ為に地図の掲載や当日の案内等、工夫の必要がある。 ④ 第 50 回の企画 過去の写真・資料展示、第一中学校吹奏楽部への依頼、ポップコーン配布、過去の活動を知る人から話を聞くことなどが提案された。いずれも構想段階であり、採用・実施は未確定。 ⑤ 担当割り 全体進行　　：G 委員 舞台発表 5 月 22 日（土）：E 委員・H 委員 5 月 23 日（日）：D 委員・F 委員 作品展　　：A 委員・B 委員 各種催し　　：C 委員 サークル体験：C 委員 （２） 地域活性化講座の企画について ① 英語講座 B 委員を講師に迎え、11 月 27 日（金）午前、第 2 教室で織田信長を題材として日本の歴史を英語で学ぶ講座を進める。チラシの表記に関して修正を提案する意見があった。事務局は LoGo

	フォーム等の募集準備に移る方針を示した。 ② 地域の歴史講座 昨年度行った【柴崎町歴史探訪シリーズ講座】の続編として、今年度は諏訪神社を訪ねる講座を提案した。市の文化財保護審議会会長を講師候補とし、協議会の賛同を得て調整したいとの説明があった。 ③ 映画上映 3月に1作品を上映する予定。予算5万5,000円で上映可能な作品から事務局が候補リストを作成した。委員はリスト内の希望作品を11月中に提案し、事務局が選定を進める。若い利用者にも来館してもらえる作品や、南極観測70周年に関連づけた作品を選ぶ意見があった。 ④ 地域活性化講座は単発の講座の提案だけでなく、毎年度の柱となるテーマを設定し、地域の課題や対象世代に即した企画を定例として行うのはどうかとの意見があった。認知症対策や、情報セキュリティや子育て世代に向けた取組にも言及があった。 ⑤ 防災訓練 3月6日に、すわっ祭実行委員会の参加者を中心として、30分程度の避難訓練・館内確認を行う案を検討した。避難経路、非常放送、まず小規模に始める意見がでた。また6月の柴崎町地域防災訓練と連携する意見もでた。事務局は既存の防災計画等を確認し、関係者と相談して次回協議会に案を提示する。 10　その他 ・工事予定　業者の見込みでは1月中に工事を終え、2月から再開できる可能性が説明された。教育委員会等への報告、清掃・管理体制、予約手続等の調整が必要であり、未確定・公表前の情報である。休館中も職員は原則出勤し、電話・メールには対応する予定。1月23日とされるすわっ祭説明会の会場は、確定後に判断する。 次回会議日程：令和8年11月5日（木）18：30～
	教育委員会生涯学習推進センター　柴崎学習館　電話042-524-2773